

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	卒業研究Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年 月曜3限	教室名	4校舎6階
担 当 教 員	駒井 亘	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年後期で履修した卒業研究での研究方法論の知識から、研究テーマになり得る課題を選定、リサーチクエスチョンを行い、研究テーマを決定する。研究テーマの背景を明確にし、仮説・実証方法を定め、研究計画書を作成し、研究を行う。研究結果から論理的思考で考察し、研究の結論を導き出す。						
《成績評価の方法と基準》						
研究テーマの設定・研究過程・研究成果を考慮して成績評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
研究に必要な書籍・テキスト等						
《授業外における学習方法》						
授業で行った研究(調査)内容をもとに次回の授業や発表に向けてまとめやパワーポイントのスライド作成を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
研究は自分たちが楽しいと思わなければ進んでいきません。授業中グループ内で研究を進めていく際に楽しいと思えるような事で多くのディスカッションを行い研究を進めていってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	グループを決定しグループ内で研究についてのディスカッションができる		卒業研究にしたいテーマを考えておく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 前年の振り返りと研究の進め方についてグループ決定を行う			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究したい項目をグループ内で決め、その内容について調査を行い、研究背景となる部分を説明できる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する	
		各コマにおける授業予定	リサーチクエスチョン① 研究したい項目をグループ内で決め、その内容について調査を行う			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究したい項目をグループ内で決め、その内容について調査を行い、研究背景となる部分を説明できる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する	
		各コマにおける授業予定	リサーチクエスチョン② 研究したい項目をグループ内で決め、その内容について調査を行う			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究したい項目の関連する参考文献を調査し研究について精査することができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する	
		各コマにおける授業予定	リサーチクエスチョン③ 研究したい項目の関連する参考文献を調査する			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究したい項目の関連する参考文献を調査し研究について精査することができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する	
		各コマにおける授業予定	リサーチクエスチョン④ 研究したい項目の関連する参考文献を調査する			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標 これまで調査した結果を踏まえグループ内で研究内容を決定するかどうかディスカッションし結論を導き出すことができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	リサーチクエスト⑤ これまで調査した結果を踏まえグループ内で研究内容を決定するかどうかディスカッションする		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標 これまで調査した結果を踏まえグループ内で研究内容を決定するかどうかディスカッションし結論を導き出すことができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	リサーチクエスト⑥ これまで調査した結果を踏まえグループ内で研究内容を決定するかどうかディスカッションする		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標 決定した研究内容の方法・予想される結果の再検証を行い、実現できる内容かどうかを精査することができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	リサーチクエスト⑦ 決定した研究内容の方法・予想される結果の再検証を行う		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標 決定した研究内容の方法・予想される結果の再検証を行い、実現できる内容かどうかを精査することができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	リサーチクエスト⑧ 決定した研究内容の方法・予想される結果の再検証を行う		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標 これまでの調査内容をPPTにまとめることができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	リサーチクエスト⑨ これまでの調査内容をPPTにまとめる		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標 これまでの調査内容をPPTにまとめることができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	リサーチクエスト⑩ これまでの調査内容をPPTにまとめる		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標 これまでの調査内容をPPTにまとめることができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	リサーチクエスト⑪ これまでの調査内容をPPTにまとめる		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標 これまでの内容の発表から研究計画書作成のイメージをグループ内で共有することができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	これまでの内容の発表		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標 これまでの調査から研究背景・目的の部分を作成することができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	研究計画書の作成① 背景・目的を完成させる		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標 これまでの調査から研究背景・目的の部分を作成することができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	研究計画書の作成① 背景・目的を完成させる		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	卒業研究Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	通年 月曜3限	教室名	4校舎6階
担当教員	駒井 亘	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年後期で履修した卒業研究での研究方法論の知識から、研究テーマになり得る課題を選定、リサーチクエスチョンを行い研究テーマを決定する。研究テーマの背景を明確にし、仮説・実証方法を定め、研究計画書を作成し、研究を行う。研究結果から論理的思考で考察し、研究の結論を導き出す。						
《成績評価の方法と基準》						
研究テーマの設定・研究過程・研究成果を考慮して成績評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
研究に必要な書籍・テキスト等						
《授業外における学習方法》						
授業で行った研究(調査)内容をもとに次回の授業や発表に向けてまとめやパワーポイントのスライド作成を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
研究は自分たちが楽しいと思わなければ進んでいきません。授業中グループ内で研究を進めていく際に楽しいと思えるような事で多くのディスカッションを行い研究を進めていってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究方法について精査する(アンケート作成の有無、実験方法とその経費など)ことにより研究実施の具体的な計画を立てることができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する	
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成③ 研究方法について精査する(アンケート作成の有無、実験方法とその経費など)			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究方法について精査する(アンケート作成の有無、実験方法とその経費など)ことにより研究実施の具体的な計画を立てることができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する	
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成④ 研究方法について精査する(アンケート作成の有無、実験方法とその経費など)			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究方法について精査する(アンケート作成の有無、実験方法とその経費など)ことにより研究実施の具体的な計画を立てることができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する	
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成⑤ 研究方法について精査する(アンケート作成の有無、実験方法とその経費など)			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究からどのような知見が得られるかを精査することができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する	
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成⑥ 研究からどのような知見が得られるかを精査する			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究からどのような知見が得られるかを精査することができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する	
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成⑦ 研究からどのような知見が得られるかを精査する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書全体をもう一度見直し、計画書を完成させることができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成⑧ 研究計画書全体をもう一度見直し、計画書を完成させる		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究に必要な準備(アンケート作成や実験物品の発注など)を行い、そのスケジュールを説明できる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
		各コマにおける授業予定	研究実施準備① 研究に必要な準備(アンケート作成や実験物品の発注など)		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究に必要な準備(アンケート作成や実験物品の発注など)を行い、そのスケジュールを説明できる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
		各コマにおける授業予定	研究実施準備② 研究に必要な準備(アンケート作成や実験物品の発注など)		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究に必要な準備(アンケート作成や実験物品の発注など)を行い、そのスケジュールを説明できる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
		各コマにおける授業予定	研究実施準備③ 研究に必要な準備(アンケート作成や実験物品の発注など)		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究方法に従い研究を進めることができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
		各コマにおける授業予定	研究実施① 研究方法に従い研究を進める		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究方法に従い研究を進めることができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
		各コマにおける授業予定	研究実施② 研究方法に従い研究を進める		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究方法に従い研究を進めることができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
		各コマにおける授業予定	研究実施③ 研究方法に従い研究を進める		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究方法に従い研究を進めることができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
		各コマにおける授業予定	研究実施④ 研究方法に従い研究を進める		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究の結果をもとに結果の解析を行うことができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
		各コマにおける授業予定	研究結果の解析① 研究の結果をもとに結果の解析を行う		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究の結果をもとに結果の解析を行うことができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
		各コマにおける授業予定	研究結果の解析② 研究の結果をもとに結果の解析を行う		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	卒業研究Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	通年 月曜3限	教室名	4校舎6階
担当教員	駒井 亘	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年後期で履修した卒業研究での研究方法論の知識から、研究テーマになり得る課題を選定、リサーチクエスションを行い研究テーマを決定する。研究テーマの背景を明確にし、仮説・実証方法を定め、研究計画書を作成し、研究を行う。研究結果から論理的思考で考察し、研究の結論を導き出す。						
《成績評価の方法と基準》						
研究テーマの設定・研究過程・研究成果を考慮して成績評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
研究に必要な書籍・テキスト等						
《授業外における学習方法》						
授業で行った研究(調査)内容をもとに次回の授業や発表に向けてまとめやパワーポイントのスライド作成を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
研究は自分たちが楽しいと思わなければ進んでいきません。授業中グループ内で研究を進めていく際に楽しいと思えるような事で多くのディスカッションを行い研究を進めていってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究の結果をもとに結果の解析を行うことができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する	
		各コマにおける授業予定	研究結果の解析③ 研究の結果をもとに結果の解析を行う			
第32回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究の結果をもとに結果の解析を行うことができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する	
		各コマにおける授業予定	研究結果の解析④ 研究の結果をもとに結果の解析を行う			
第33回	演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの内容をPPTにまとめることができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する	
		各コマにおける授業予定	これまでの内容をPPTにまとめる①			
第34回	演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの内容をPPTにまとめることができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する	
		各コマにおける授業予定	これまでの内容をPPTにまとめる②			
第35回	演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの内容をPPTにまとめることができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する	
		各コマにおける授業予定	これまでの内容をPPTにまとめる③			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	演習形式	授業を通じての到達目標 これまでの研究中間発表から結論までの行程を考えることができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	これまでの研究中間発表		
第37回	演習形式	授業を通じての到達目標 研究結果から考察、結論を導きだすことができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	研究結果から考察、結論を導きだす①		
第38回	演習形式	授業を通じての到達目標 研究結果から考察、結論を導きだすことができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	研究結果から考察、結論を導きだす②		
第39回	演習形式	授業を通じての到達目標 研究結果から考察、結論を導きだすことができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	研究結果から考察、結論を導きだす③		
第40回	演習形式	授業を通じての到達目標 研究発表PPTと抄録を作成できる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	研究発表PPTと抄録の作成①		
第41回	演習形式	授業を通じての到達目標 研究発表PPTと抄録を作成できる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	研究発表PPTと抄録の作成②		
第42回	演習形式	授業を通じての到達目標 研究発表PPTと抄録を作成できる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	研究発表PPTと抄録の作成③		
第43回	演習形式	授業を通じての到達目標 作成したPPTスライドを用いて研究発表し他者に批評されることで客観的視点から自身のグループの研究を見つめなおすことができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	卒業研究発表		
第44回	演習形式	授業を通じての到達目標 作成したPPTスライドを用いて研究発表し他者に批評されることで客観的視点から自身のグループの研究を見つめなおすことができる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	卒業研究発表		
第45回	演習形式	授業を通じての到達目標 発表で得た修正点等も加味しながら論文集抄録を作成できる	研究に必要な書籍等	授業でやりきれなかった内容、次の時間に行う項目について自己学習する
	各コマにおける授業予定	論文集抄録の作成		